

ホームステイを楽しむために

1. ホームステイボランティアとは？

(1) ホームステイ

ホームステイとは、外国人がその国の普段の暮らしを体験するために、一般家庭に宿泊することです。ホームステイの受入家庭になることは、外国人に日本の生活を知ってもらうだけでなく、自分たちも外国の人の生活を知ることになります。お互いが直接交流し、そこで学んだことは特別な繋がりや理解を生むこととなります。

(2) ホームステイボランティア

留学や研修で来日している外国人（以下、ゲスト）は寮やアパート、研修施設等で生活しているため、日本の生活や文化に触れる機会が少ない実情があります。そのようなゲストを自宅に迎え入れ、一般的な日本の生活を体験できるように、ご協力いただくボランティア活動です。

(3) ホームステイに参加する人

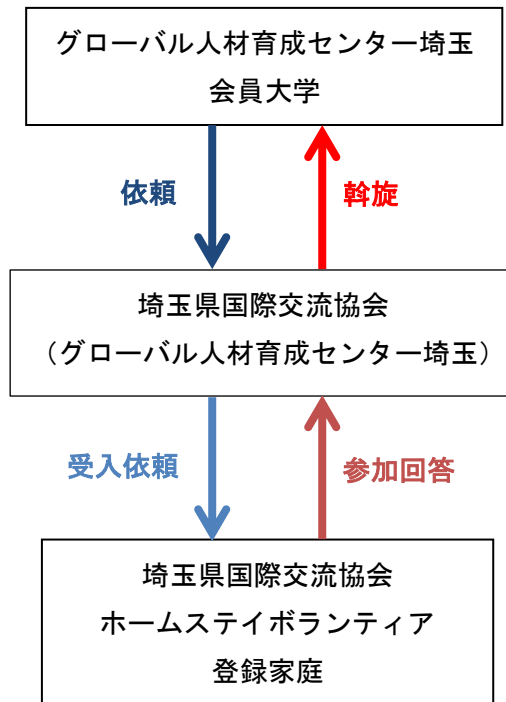
公益財団法人埼玉県国際交流協会内グローバル人材育成センター埼玉（以下GGS）の、県内会員大学の外国人留学生（短期留学生を含む）や、独立行政法人国際交流基金日本語国際センターの外国人研修生（海外で日本語を教えている外国人の日本語教師や日本語教師になるための研修生）です。

主な依頼機関	GGS会員大学	日本語国際センター
ゲストはどこから来るの？	GGS会員大学に在籍している外国人留学生	海外から研修のために来日した外国人日本語教師
ゲストの年齢層は？	主に20～30代	主に20代～40代（研修により異なります。）
どのように対面するの？	ゲストが受入家庭に事前連絡し、家庭の最寄り駅で対面します。	土曜日10時20分に日本語国際センター（北浦和駅徒歩10分）のホールで対面します。
年に何回あるの？	年3回予定（依頼元から当協会のみが引き受けています。）	年5回予定（県内の市町村国際交流協会や市町村担当部署が引き受けています。*1）
謝礼はあるの？	3,000円のQUOカードを、実施後に郵送しています。	1泊につき5,000円です。対面時にお受け取りください。
ゲストは日本語が話せるの？	ゲストにより日本語会話力は異なります。状況に応じて、やさしい日本語での会話をお願いします。	

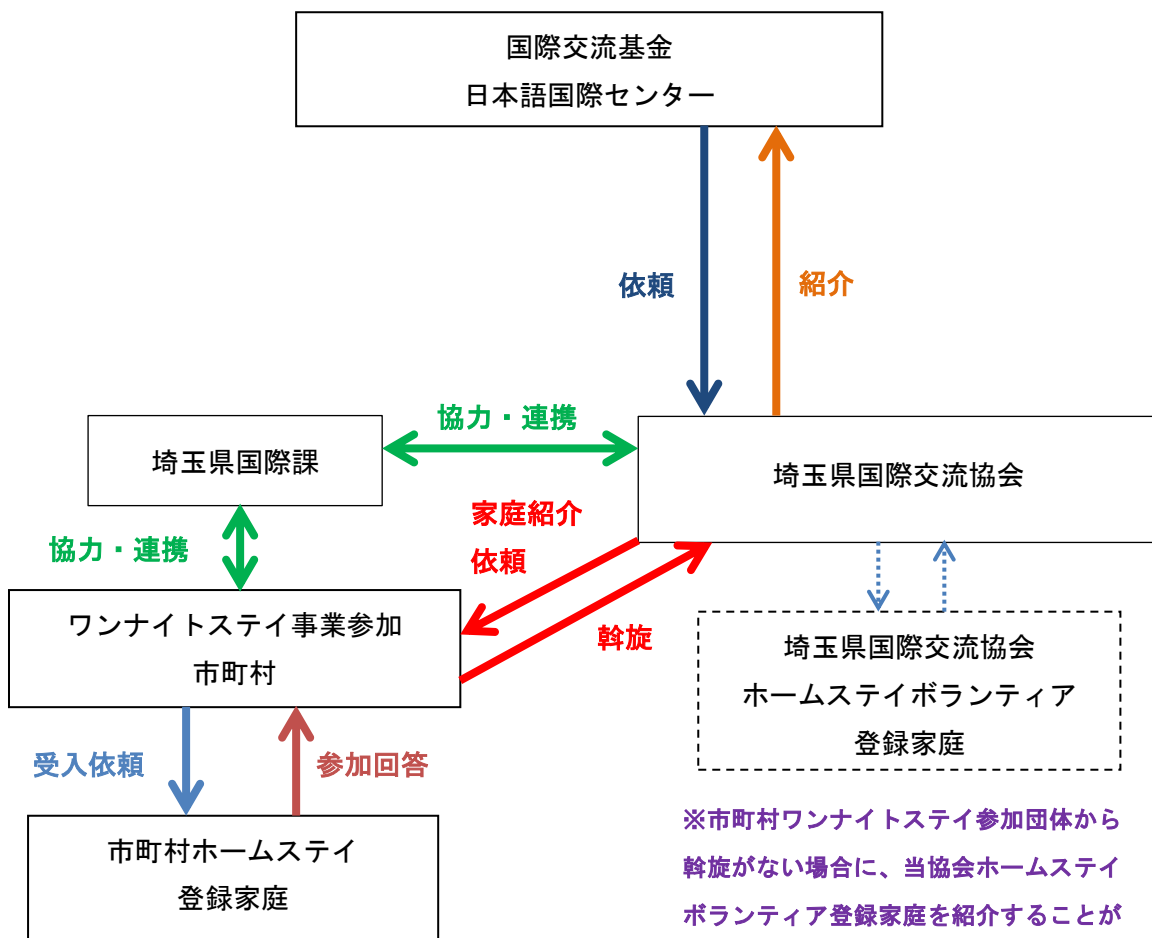
*1 日本語国際センターのホームステイに関しては、埼玉県のワンナイトステイ事業という名称で運営されています。ワンナイトステイ事業参加の埼玉県内市町村がマッチングを担当しているため、当協会では募集を行わない場合があります。

*2 上記2団体以外にも依頼を受ける場合があります。

外国人留学生ホームステイの流れ



ワンナイトステイ事業ホームステイの流れ



※市町村ワンナイトステイ参加団体から斡旋がない場合に、当協会ホームステイボランティア登録家庭を紹介することがあります。

(4) ホームステイの期間は？

基本的には、土曜日から日曜日の1泊2日です。依頼先により、1週間～1ヵ月を依頼する場合もあります。

(5) ホームステイボランティアへの登録条件

- 家族全員でゲストを歓迎できること
- 埼玉県内に在住していること
- ゲストに1部屋を提供できること
- 原則として家族が2名以上いること（単身世帯でないご家庭）
 - 1人暮らしの方は、当日お友達などに宿泊してもらい、複数名で受入ができれば可能。

(6) 登録について

登録方法

ホームステイボランティアを希望する家庭は、登録申込書を埼玉県国際交流協会にメールまたはFAXで提出してください。登録申込書は、ホームページから出力できます。登録内容に変更があった場合には、埼玉県国際交流協会に連絡をお願いします。

登録期間

ホームステイボランティアの登録期間は、4月1日から翌年3月末日までの1年間です。登録家庭（以下、ホスト）と埼玉県国際交流協会の双方で異議ない限り、1年毎に自動更新します。

登録取消

ホストから辞退の申し出があった場合、登録を取り消します。なお、ホストとして不適切な事由が発生した場合には、埼玉県国際交流協会が登録の取り消しを行いません。

2. ホームステイの受入について

(1) 心構え

ホームステイは、ゲストに日本の家庭生活を体験してもらうことが目的です。特別にお金をかけて準備する必要はありません。飾らず自分の家庭に招き入れることが、ゲストへのおもてなしとなります。

(2) 下調べ

ゲストの国の歴史や文化、習慣等を調べておくと、会話の糸口になります。また、ゲストを理解することにもなります。日本や住んでいる地域についても、調べておくと良いでしょう。

(3) 言葉について

言葉はコミュニケーションツールのひとつです。語学力がないからといって不安になる必要はありません。簡単な日本語表現（やさしい日本語）を使ったり、身振り手振りを交えたり、単語だけでも、時には筆談でも、ゲストとコミュニケーションをとりましょう。大切なのは伝えようとする気持ちです。異なる文化や価値観を持つゲストとの交流を楽しんでください。

3. ステイ中のこと

国が違えば、生活様式も異なります。それぞれの家庭に生活リズムがあるので、それを知ってもらうために守ってほしいことを、あらかじめ話しましょう。そうすれば、ゲストもそのつもりで行動しやすいでしょう。

(1) 家族全員の紹介

ゲストに家族全員の名前や呼び方等を紹介してあげてください。また、ゲストの名前を覚え、家族全員でその名前を呼んであげましょう。家族の一員として接することで、ゲストの緊張も和らぐでしょう。

(2) 家の中の案内

ゲストに提供する部屋、トイレ、洗面所、浴室、食事をする部屋、居間など、部屋を案内しましょう。お風呂の使い方、部屋の使い方等を説明してあげてください。また、最近はスマートフォンやタブレットを持っているゲストも多いです。もし家庭のWi-Fiを利用してあげるなら、接続方法も教えてあげましょう。

(3) ゲストの好みなどを聞く

趣味や特技、宗教上の制限やアレルギーは、事前にお渡しするゲストのプロフィールでも確認できますが、間違いがあってはならないので、本人に再確認しましょう。知らなかったばかりに、用意した料理が食べられなかったり、慣れないスケジュールで体調を崩してしまったりすることもあります。

(4) 過ごし方

ゲストはホームステイを通して、日本の一般的な家庭生活の体験を目的に来ています。必ずしも外に連れて行ってあげないといけないと考える必要はありません。家族との交流が、かけがえのない思い出になります。

例えば・・・

- ・食事の材料を一緒に買い出しに行く
- ・食事を一緒に作る、ゲストの国の料理を作ってもらう
- ・近所を散歩する（スーパー、公園など）
- ・着物の着付け、書道、おりがみ等の日本文化体験をする
- ・名所旧跡、歴史的建造物の見学 ※ゲストの宗教への配慮をお願いいたします。

(5) 外出

ホームステイ中にかかる費用は、基本的にゲストが負担することとなっています。外出時に支払いが必要な場合は、ゲストに事前にどのくらいの費用がかかるか、きちんと伝えてください。ゲストは学生ですので、外出先があまりに高額にならないようご配慮をお願いします。



4. ステイ後のこと

(1) おみやげ

日本人はおみやげを渡すことが好きですが、外国にはそのような習慣がないところもあります。原則として、おみやげを渡す必要はありませんが、何か渡したい場合には、高価なものではなく、ホームステイの思い出となるものを贈りましょう。

例えば・・・

- ・ウェルカムボード
- ・家族で作ったお菓子
- ・家族からの寄せ書きや写真
- ・安価で購入できる日本の小物（箸、扇子、手ぬぐい等）
- ・一緒に外出した先での記念品

(2) その後の付き合い

ホームステイ中に、ゲストに今後も交流をしたい旨を直接伝えてください。連絡先の交換については、ホストとゲスト本人にお任せしています。何かの機会にまた家に招いたり、ゲストの国に訪問したり等、良い関係を築くことが出来ると良いでしょう。

最近では、SNS（Facebook、Instagram、LINE 等）で気軽に交流を楽しんでいるホストも多いようです。

5. 最後に

(1) アンケートから

当協会では、ホームステイ実施後に、ゲストとホストの双方にアンケート調査を実施しています。アンケート結果によると、「ホストは親切であった」「楽しかった」「ゲストは礼儀正しかった」「また会いたい」というものですが、参加した全員が好意的とは限りません。気になる事例をいくつかご紹介します。

事例①（ゲストからの意見）

日中は子供と遊ぶことばかりでお母さんは他のことをしていた。また、子供と同じ部屋で寝ることになり、朝起きるのもとても早かった。この2日間はかなり疲れた。

（解説）

ゲストは子供の世話を押し付けられたと感じたようです。ホストとしては、ゲストを家族の一員として考え、子供と遊ぶことや一緒に寝ること等が交流の一環と考えたようです。もう少しホストがゲストとのコミュニケーションが取れていれば良かったのかなと思います。

事例②（ゲストからの意見）

ホストの家族が仕事で関わった人が、自分と同じ国籍だった。その人の印象が悪かったようで、「〇〇人は嫌い」と目の前で言われ悲しい気持ちになった。

(解説)

ホストの配慮が足りなかった事例です。曖昧な表現をしない言い回しではありますが、いくら同じ国籍でも、ゲストとその人は全く違う人間です。一個人として、ゲストを見てあげられれば、このようなことは起こらないと思います。

事例③ (ゲストからの意見)

ホームステイした家庭に、他のゲストが滞在していた。自分ひとりだったら、もっと交流をしたり、話したり出来たと思うのに出来なかった。

(解説)

ホームステイの経験が豊富なホストではありますが、慣れが生んだ事例です。ゲストは、ホストとの交流を通して日本の家庭生活や文化を体験することを目的として、ホームステイに参加しています。そのことをふまえ、ゲストとコミュニケーションを取っていれば良かったと思います。

事例④ (ホストからの意見)

プロフィールを見て特に好き嫌いがなかったが、用意した料理を全然食べてくれなかった。よくよく聞いてみたら、ものすごい好き嫌いがあった。

(解説)

ゲストには宗教上の理由やアレルギー等での食事制限について、プロフィールに記入してもらっています。好き嫌いまでは聞いていないので、前もって食べられないものを聞いておくといいでしょう。作ったものを食べて欲しいという思いも分かりますが、あまり無理強いせず「食べられる物を好きなだけどうぞ」と柔軟に対応しましょう。

事例⑤ (ホストからの意見)

行きたい所や体験してみたいことを聞いたが、何でも良いと言われてしまった。どこに連れて行ってあげれば良いか分からず、困ってしまった。

(解説)

ゲストは、自分中心にいろいろと考えてもらうことが「お客様扱いされている」と感じてしまったようです。ホストとしては、ゲストの希望に合わせ、どこかに連れて行ってあげたい、何か体験させてあげたいと思うかもしれませんが、日本の日常生活の体験がホームステイの目的です。ホストの予定に合わせて行動することも良いでしょう。

事例⑥ (ホストからの意見)

一家団欒を楽しみたかったが、携帯をずっといじっていたので交流を楽しめなかった。

(解説)

ホストは「若者だから仕方ない」と言っていましたが、これではせっかくの機会が台無しです。ゲストとしては、自分の家でくつろいでいる時と同じ行動だとは思いますが、ホームステイの目的をきちんと理解してもらうよう、GGS 会員大学にもゲストにもお伝えしました。

日本では当たり前のこと、ゲストにとっては異文化です。日本人のような「以心伝心」はゲストにはわかりません。ゲストもホストもお互いが、ホームステイが良い思い出となるよう、コミュニケーションをとってください。たとえ言葉が通じなくても、手振り身振りを交えて意思表示はきちんとしましょう。曖昧だと大きな誤解を招くこともありますので注意しましょう。

(2) 協会からのお願い

ゲストは、関連機関の寮やアパート、研修施設で暮らし、滞在スタイルは限られているので、日本で家庭的な雰囲気味わうことは難しいようです。日本滞在期間の一部を、せっかく来た日本なのだから、チャンスがあればホームステイしてみたいと考えている外国人はたくさんいます。そのようなゲストの思いを汲み取ってください。ゲストの国籍や宗教などに関わらず、受け入れてくださるようお願いいたします。食事制限や宗教上の習慣などへのご理解もお願いいたします。ゲストが大切にしているものを、大切にしてください。

また、せっかく楽しみにしていたホームステイなのに、「受け入れはもう嫌だ」「二度とやりたくない」という結果になっては、本当に残念です。ぜひ、ゲストとコミュニケーションをたくさん取ってください。たった一泊のホームステイでも、より積極的に理解し合おうとすることで心が通い、お互いが近くて大切な存在となることでしょう。

(3) 今後のスケジュール

日程	形式	対象者
2020年11月29日(日)	オンライン交流 (午前・午後 各1回実施)	GGG 会員大学外国人留学生
2021年 2月27日(土)～ 2月28日(日)	ホームステイ(予定) ※状況によりオンライン交流 に変更する場合があります。	GGG 会員大学外国人留学生

ホームステイQ&A

Q1. 語学力がないので、コミュニケーションに不安を感じています。

A1. ゲストも日本語が完璧という方は少ないです。語学力が無いからといって不安になる必要はありません。簡単な日本語表現（やさしい日本語）を使ったり、身振り手振りを交えたり、単語だけでも、時には筆談でも、工夫してコミュニケーションをとっていただくと良いでしょう。大切なのは伝えようとする気持ちです。異なる言語・文化を持つゲストとの交流を楽しんでいただければ幸いです。

Q2. ホームステイ中は何を過ごしたら良いですか？

A2. ゲストはホームステイを通して、日本の一般的な家庭生活を体験することを目的に来ています。必ずしも、外に連れて行ってあげないといけない、と考える必要はありません。ご家族の一員のように、温かい気持ちでお迎えいただくようお願いいたします。ご家族との交流がなによりの思い出となります。

〈例えば〉

- 食事の材料を一緒に買い出しに行く
- 一緒に料理を作る（日本の料理を作る、ゲストの国の料理を作ってもらうなど）
- 近所を散歩する（スーパー、公園、神社など）
- 着物の着付け体験をする
- 家でアルバム（写真）やテレビ・雑誌などを見て、会話を楽しむ

Q3. 食事はどんなものを出したら良いですか？

A3. 特別なものをご用意いただく必要はありません。基本的には普段通りの食事をご用意いただければ問題ありません。一部、体質的な問題や宗教上の理由で、食事制限がある場合があります。その場合、事前にお渡しするプロフィールに記載がありますが、念のためお受入の際に、ゲスト本人にご確認ください。また、せっかくの機会なので、日本独特の食べ物にも挑戦してもらいたいと思うかもしれませんが、無理強いはしないように気を付けましょう。

〈外国人に好評な日本の料理一例〉

手巻き寿司、焼き鳥、天ぷら、焼きそば、肉じゃが、おにぎり等

Q4. 小さい子どもがいるのですが、受け入れをしても問題ないですか？

A4. マッチングの際に、ゲストに「ご家庭に小さいお子さんがいても大丈夫か」を確認していますので、全く問題ありません。小さいお子さんがいると、気持ちが和み、ゲストも受入家庭も互いに緊張がほぐれる場合もあるようです。

Q5. ゲストにおみやげをあげても良いですか？

A5. おみやげに関しての基準は定めておりませんが、あまり高価なものは避けてください。

Q6. ゲストと交流を続けたいのですが、どうすれば良いですか？

A6. ホームステイ中にゲストに今後も交流したい旨を直接伝えてください。連絡先の交換については、ホストとゲストにお任せしております。交流を続けている方の中には20年近く連絡を取り合っている方もおり、今では家族ぐるみで交流を楽しんでいる方もいらっしゃいます。

モデルスケジュール（ホームステイ）

1日目	15:00	ゲストを集合場所へ迎えに行く
	15:30	自宅に到着したら、家の中の案内や家庭内のルールを説明 ※家の中で入ってほしくない部屋、触ってほしくないものについては、はっきりと伝えるようにしましょう。
	17:00	夕飯の準備を兼ねて、スーパーへ買い物
	18:30	ゲストと夕食 ※夕食を取りつつ会話を楽しみ、ゲストとの距離を縮めましょう。後片付けなどは、できる範囲で手伝ってもらおうと良いでしょう。
	22:00	入浴後、就寝 ※ホームステイ初日は、ゲストもホストも疲れていることでしょう。夕食後、一家団欒を過ごしたら、就寝してもらいましょう。翌日の朝食時間を伝えることを忘れずに！
2日目	7:00	ゲストと朝食 ※朝食の時に「よく眠れた?」「困ったことはなかった?」など聞いてあげましょう。
	日中	ゲストとの交流 ※ゲストの希望も聞き、何をするか決めましょう。 例) 日本の四季や自然が感じられる公園などの散策 日本文化体験（折り紙、書道、着付けなど）
	13:00	ゲストと昼食
	16:00	お別れの時間 ※忘れ物がないか確認しましょう。お互いに連絡先を交換しておけば、今後の交流も続くでしょう！ ※ゲストの帰りやすい場所まで送っていきましょう。

ホームステイに関して、少しでも不安や疑問がある場合には、ぜひお気軽にご相談ください。